

11 野 中 地 域

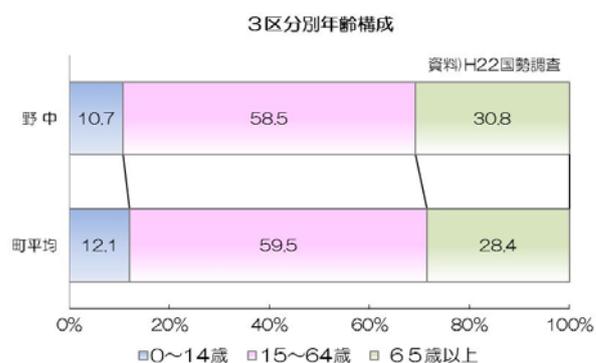
野中地域は、舟見野台地北端に位置しており、全体的に散居集落が形成されているとともに、優良農地が広範囲に分布している地域です。地域の中央部には、公園等の公共施設が集積しています。

人口・世帯数の動向

平成 22 年現在の人口は 814 人、世帯数は 250 世帯で、人口は減少傾向から平成 22 年に増加に転じ、また、世帯数は増加傾向にあります。

少子・高齢化の傾向

本地域の年少人口(0～14 歳)は、町平均を下回っています。また、老年人口(65 歳以上)の割合は、町平均を上回っています。



土地利用現況

(主)黒部朝日公園線、(一)舟見入膳線等の道路沿道には、住宅等が立地しています。また、地域全体には特徴的な散居集落が形成されています。

(主)黒部朝日公園線と(一)舟見入膳線との交差点付近には、農村婦人の家、あぐり館などの公共施設が集積しています。

野中地域全域にわたり、優良農地が広範囲に分布しています。

都市基盤整備状況

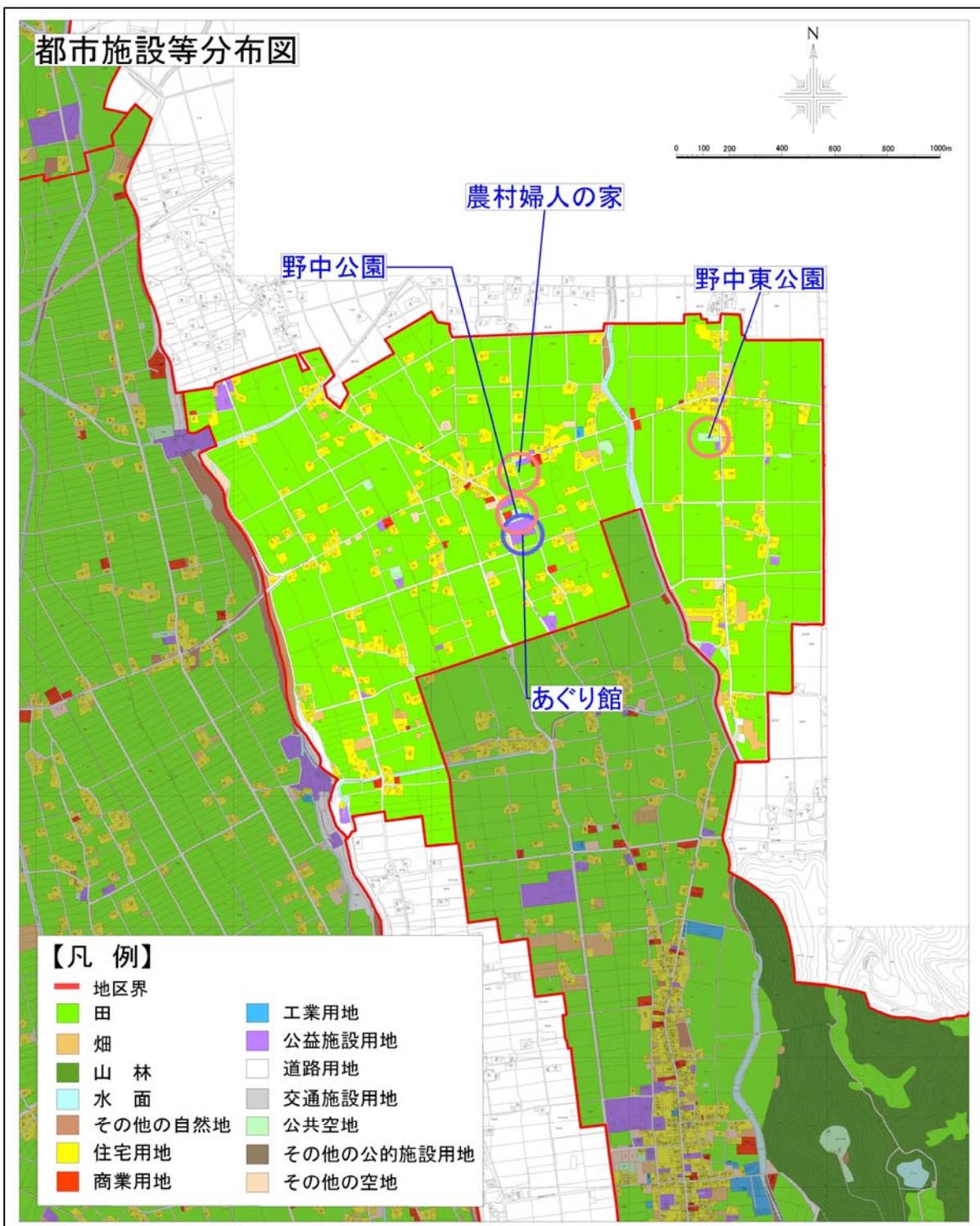
地域中央部を東西に横断する(主)黒部朝日公園線は、東西方向の主要な幹線道路として重要な役割を担っています。

(一)舟見入膳線等が地域を南北に縦断していますが、主要な幹線道路となる(主)黒部朝日公園線など、東西方向の道路とのアクセス性や安全・快適な交通環境が十分に確保されていません。

町営バス『のらんマイ・カー』は、入善町の中心部をはじめとした各地域への交通手段として、高齢者の割合が比較的高い野中地域では重要な役割を担っています。

住宅地や集落内には、野中公園、野中東公園が整備されています。

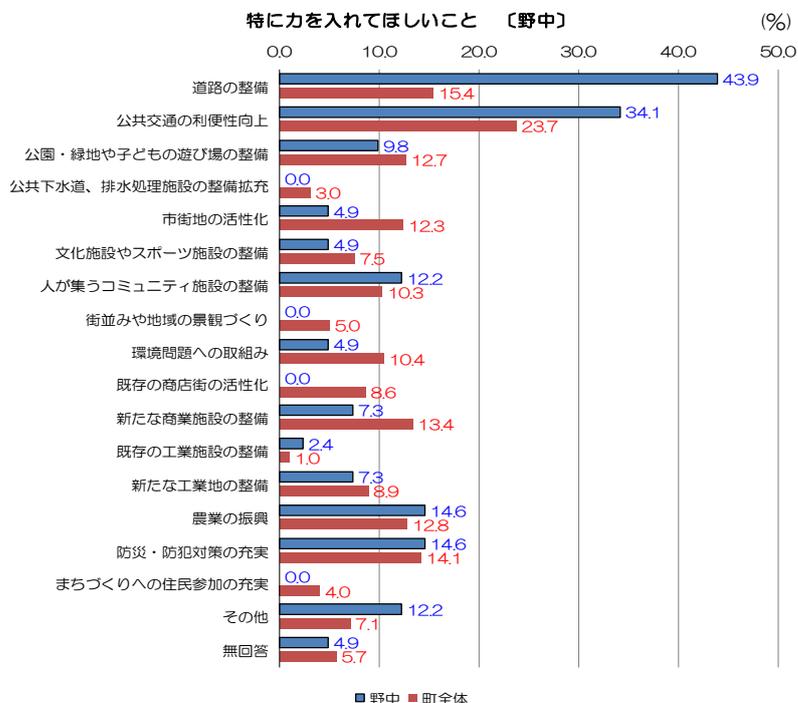
主な都市施設分布状況	
行政・コミュニティ施設	野中公園、野中東公園、農村婦人の家
福祉施設	
教育施設	
スポーツ・文化施設	あぐり館
その他の施設	



■ アンケート調査結果、まちづくり懇談会の主な意見(H18～H22)

● アンケート調査結果(地域において特に力を入れてほしいこと)

・ 本地域の住民が特に力を入れてほしいと感じていることは「道路の整備：43.9% (1位)」、
「公共交通の利便性向上：34.1% (2位)」、
「農業の振興、防災・防犯対策の充実：14.6% (3位)」
であり、アクセス機能の向上を求める要望が挙げられています。



● まちづくり懇談会の主な意見(H18～H22)

(H18.H19.H21) 県道黒部朝日公園線の早期整備を要望
(H18) 県道黒部朝日公園線の稲村瓦店交差点の改良を要望
(H18) 山の手地区の活性化推進を要望
(H18) クマ・サルに対する迅速な対応を要望
(H18) 廃墟となっている空き家の行政による取り壊しを要望
(H19) 災害時における耐震化された避難所の設置を要望
(H19) 通学路への防犯灯の増設を要望
(H19) 町道上今江西中線の道路拡幅及び外側白線の整備を要望
(H20) 避難所および総合的なものを兼ね備えた施設の建設を要望
(H21) 町の施設として耐震構造の建物は無く災害時の避難場所の、安全・安心性の確保、地区の活性化のために、多目的機能を備えた建物の早期建設を要望
(H21) 下山芸術の森(中沢地区内)があるが、そこに未使用の建物が併設されており、福祉施設の設置を要望
(H21) 地場産業の誘致を要望
(H21) 町道上今江西中線の整備(拡幅)を要望
(H21) 町道上今江西中線の野中交差点(野中神社)から以東側の防犯灯設置を要望
(H21) 野中農村公園は、遊具が老朽化しており、危険であることから更新を要望
(H22) 県道・町道と田んぼの高低差、あるいは、排水路との高低差があるため落ちたら危険
(H22) 地震などの災害時に備えた耐震構造の公共施設がない

■まちづくりの課題

（土地利用の課題）

地域の活性化や地域住民の安全性の向上を図るため、耐震性、多目的機能を備えた地域の核となるコミュニティ施設を再整備する必要があります。

優良農地と調和した散居集落の保全に向け、適正な土地利用を誘導する必要があります。

地域全域にわたり、優良農地が広範囲に分布することから、これらの田園環境の維持、農業の活性化に寄与する施策を検討する必要があります。

（都市基盤整備の課題）

地域内の各所から、東西方向の幹線道路である(主)黒部朝日公園線等へのアクセス性の向上を図るため、これらに接続する南北方向の道路機能を強化・充実する必要があります。

■まちづくりの方針【野中地域】

1. 将来目標

舟見野台地北端に広がる田園と調和した良好な集落環境の維持

野中地域は、舟見野台地北端に広がる田園と調和した良好な散居集落の環境を維持していくとともに、高齢者など、地域住民の安全性を確保するため、防災機能の強化などを図ります。

2. 土地利用の方針

(田園と調和した散居集落の維持・向上)

- ・ 優良農地の保全、また、田園の中に点在した特徴的な散居集落の維持・向上を推進するため、必要に応じて、地区計画等の導入を図ります。
- ・ 災害時の避難場所やコミュニティ向上の拠点とするため、老朽化の進む地区交流センターの再整備または施設機能の充実を図ります。
- ・ 地域内の安全・安心な歩行環境の形成のための道路機能の強化や、地域住民が憩える公園の整備、消防水利の充実を図ります。
- ・ 空き家情報提供制度の活用による空き家等の利活用促進を図り、集落環境の維持・改善を図ります。



地域に広がる優良農地

(農業等の振興に向けた検討)

- ・ 農業等の振興につながる、営農拠点施設及び生産支援施設の立地を検討します。

(自然との調和や地域資源の保全・活用)

- ・ 豊かな自然環境と調和した地域を形成するため、舟見野台地などの森林空間の保全・維持を図ります。
- ・ (仮称)野中コミュニティセンターなどの農業・農村振興に寄与する研修施設などの地域資源のさらなる保全・活用を推進します。

3. 都市施設整備の方針

(1) 道路整備の方針

(東西方向を連絡する広域幹線道路の維持・整備)

- ・ (主)黒部朝日公園線は、隣接市町への連絡道路であるとともに、北陸自動車道黒部 IC 及び北陸新幹線新黒部駅(仮称)への連絡道路として重要な路線であるため、アクセス機能を強化します。

(地域住民の日常生活に密着した道路整備)

- ・ 野中地域の東西方向の主要な幹線道路である(主)黒部朝日公園線にアクセスする南北方向の道路機能の強化・充実を図ります。

(夜間などの交通事故防止対策の充実)

- ・ 夜間などの交通事故防止対策の充実を図るほか、ひばり野小学校への通学路の交通安全性向上に寄与する道路機能の強化・充実を図ります。

(2) 公共交通の方針

(町営バスの利便性向上)

- ・ 町営バスは、今後の利用動向を見極めながら、必要に応じ、柔軟に対応することで、地域住民にとってより利便性の高い運行を行います。

(3) 公園・緑地の方針

(舟見野台地の緑地の保全)

- ・ 舟見野台地などの自然緑地は、町の都市骨格を形成する緑地として今後も保全します。

(既設公園の保全・活用)

- ・ 野中公園、野中東公園など、地域住民の憩いの場となる既設公園は、今後も施設や遊具の適切な維持管理を推進します。

4. 環境共生型の都市づくりの方針

(自然環境の保全と活用)

- ・ 舟見野台地などの緑豊かな台地は、里山保全事業などにより、計画的な保全対策を推進するとともに、野生動植物の生態系の維持や、地域住民等が自然と触れ合う空間としての活用を図ります。
- ・ 舟川は、特有の生態系と環境・水質の保全など、良好な河川環境の整備を図ります。



稲刈り体験

5. 都市景観形成の方針

(舟見野台地や河川の自然景観の保全)

- ・ 舟見野台地の緑豊かな山並み景観を保全するため、森林の適正な維持管理など、里山保全事業を推進します。
- ・ 舟川については、河川周辺の緑化、清掃活動などを推進し、潤いのある水辺景観を保全していきます。

(特徴的な散居集落の景観の保全)

- ・ 舟見野台地に広がる優良農地と調和した特徴的な散居集落の景観を保全するため、無秩序な開発を抑制し、必要に応じて、地区計画等の導入を図ります。

6. 安全・安心な都市づくりの方針

(水害の防止対策の強化と地域住民の意識向上)

- ・ 舟川の洪水及び浸水災害の防止対策を推進するとともに、洪水ハザードマップ等の周知徹底など、地域住民の災害に対する意識の向上を図ります。

(避難場所の拡充・機能強化と避難路の確保)

- ・ 野中公園、野中東公園などの公園機能を充実するとともに、農村婦人の家など、地域の避難場所については、備蓄機能の確保等により、避難場所としての機能強化を図ります。
- ・ 地域の核として、災害時の避難場所となるコミュニティ施設の充実を図ります。
- ・ 災害時に地域住民が避難場所まで安全に避難できるよう、歩車道の分離、段差や狭あい道路の解消、避難経路における建築物・工作物の耐震強化などの適切な措置を推進します。

野中地域 まちづくり方針図



・地区交流センターの再構築または施設機能の充実

・交通事故防止対策の充実



町営バスの利用促進

・舟川の洪水に対する防災対策、入善町防災マップ等の周知

・(主)黒部朝日公園線などにアクセスする南北方向の道路機能の向上

・(主)黒部朝日公園線のアクセス機能の強化

(主)黒部朝日公園線

・特徴的な散居集落の維持・向上
・散居の集落景観の保全

・営農拠点施設及び生産支援施設の立地検討

・優良農地の保全



・里山保全、自然と触れ合う空間の活用

・緑豊かな山並み景観の保全
・都市骨格をなす山地の自然緑地の保全



受け継がれる良好な営農環境

凡例

- 農業環境保全地区
- 広域幹線道路
- 主要幹線道路
- バス路線
- 地域界
- 行政界
- 都市計画区域



特徴的な散居の集落景観